



CASSIOPEIA—UHC達成に向けて、対象の5つの病院における、5つ星に輝く質の高い医療ケアサービスを目指して

## JICA ルサカ郡総合病院運営管理能力強化プロジェクト



法月チーフアドバイザーと、キャセル・チボラ環境衛生官、ニャンガ専門家によるチャワマ病院でのコレラ治療センターの準備の様子。

ルサカ州の1次レベル  
病院のコレラ治療セン  
ター設置を支援

効果的な病院管理の  
ための適切な運営管  
理能力を議論

フォト・フォーカス



## 11月にルサカ州の1次レベル病院の コレラ治療センター設置を支援



カニヤマ1次レベル病院の看護師によるコレラ治療センター設営準備の様子

**カ**シオペアプロジェクトは2023年11月、ルサカ州および郡保健局と連携して、ルサカ州5つの1次レベル病院やその他のルサカ州内の病院・医療施設にコレラ治療センター・ユニットの準備・設置の支援を実施しました。

各病院へ訪問中、プロジェクトの法月チーフアドバイザーとニャンガ専門家は、特にコレラ治療センター・ユニット(CTC・CTU)で働く病院スタッフと会い、彼らをサポートし、患者からスタッフへの感染や患者間、スタッフ間の感染の可能性を抑制、最小限に抑えるための指導を行いました。

カシオペアプロジェクトでは、感染予防と制御(Infection Prevention Control)が重要な焦点のひとつとされています。法月チーフと州・郡保健局の職員が、このプロトコルの効果的で効率的な運用の重要性を病院スタッフや管理職と共有し、強調しました。交差感染や感染リスクに関連する問題にも取り組まれ、患者と病院スタッフの双方のリスクを最小限に抑えるための対策が講じられました。

プロジェクトチームの指導のもと、5つの病院は設

営準備において、CTCやCTU内でエリアの分けを行いました。具体的には、スタッフエリアと患者エリアを分け、また個人用保護具の着脱エリア等を設けることを指します。

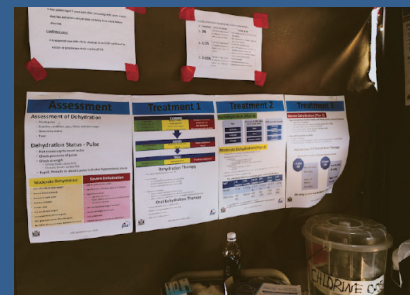
カシオペアチームは、病院スタッフの協力を得て、患者に治療センターの場所を示す案内看板や手洗いに関するポスター、廃棄物処理(鋭利な器具、一般廃棄物、医療廃棄物の分別)、その他の予防措置に関するポスターを設置しました。

しかし、いくつかの保健施設では、雨期の始まりとともにコレラ患者数の増加に備えるためのベッドスペースの確保に関する課題が続いています。コレラ治療センターの設置に関して病院が直面した他の課題には、十分な手洗いステーションの不足や広い作業スペースの欠如がありました。

ザンビア政府が10月19日にルサカ州でコレラの発生を宣言して以来、カシオペアプロジェクトはルサカ州のすべての1次レベル病院やコレラ治療センターとユニットに指定された他の病院が直面しているニーズや課題を引き続きモニタリングしています。



ニャンガ専門家とチレンジェ1次レベル病院の環境衛生官の治療センター摂津準備の様子



チパタ1次レベル病院のコレラ治療センターの看板



チャワマ1次レベル病院のコレラ治療センターで看護師が看板を設置



上: 法月チーフとマテロ1次レベル病院のスタッフが治療センター設立準備  
下: 州保健局スタッフの治療センター設立準備の様子





## 効果的な病院管理のための適切な運営管理能力を議論

2023年の第1四半期から第3四半期までのルサカ郡統合会議が、11月7日から10日までサザンサンホテルで開催されました。この会議には、ザンビア保健省、州保健局、郡保健局、さらにはチャワマ、チレンジェ、チパタ、カニヤマ、マテロなどの様々な1次レベル病院や他の医療施設のスタッフが参加しました。また、協力パートナーの代表者も出席し、その一つとしてJICAカシオペアプロジェクトも参加しました。。

統合会議の目的は、ヘルスマネジメント情報システム(HMIS)の指標に対する地区の成績と達成度を振り返ることでした。これには、健康促進、青年期のHIV/AIDS、母子保健、人材など

の多岐にわたる指標が含まれています。これはカシオペアプロジェクトの一環であり、病院の管理能力を向上させ、施設におけるエビデンスに基づく意思決定を支援することを目指しています。

会議中、プロジェクトの法月チーフアドバイザーが、プロジェクトの任務として病院の管理能力を強化し、質の高い医療サービスの提供についてプレゼンテーションしました。プレゼンでは、病院のビジョンを顧客の経験に結びつけるための戦略的な計画と管理ツールの重要性が強調され、測定可能な重要業績評価指標を追跡することで明確な行動計画を提供する必要性が説かれました。

また、バランススコアカードの重要性も共有されました。それにより、病院の運営陣がデータを通じて病院のビジョンが他の部門の活動とどのように結びついているかを視覚化し、要約することができることを強調しました。

参加者は、地区のサービス提供に影響する医療セクターの新たな問題についての最新情報を受け取り、それについて議論しました。さまざまな組織や保健省の部署からの異なる参加者が、様々な指標に関してどのように進んでいるかについてプレゼンテーションを行いました。多くの病院や医療施設が、各部門の目標達成に課題を抱えていることが懸念されました。



法月チーフアドバイザーによる病院の管理能力強化に関するプレゼンテーションの様子



全体会議中に参加者が質問する様子

Photo 1: プロジェクト専門家とルサカ郡委員会のローザ・ズールー氏、マセカ ルサカ州保健局長

Photo 2: 参加者による全体集合写真





## 医療品の在庫管理は、患者のケア向上に必要不可欠

**チ**レンジ1次レベル病院の薬局は、毎日何百人もの患者が訪れます。ここでは良質な患者ケアを提供するため、病院が入手し、薬局から提供される薬の管理や追跡が重要な役割を果たしています。

プロジェクトの塩田専門家は、各部門での定期的な医薬品在庫点検の際に、マコワネ部門長と会いました。薬局からの医薬品の受け取り状況を把握するため、薬局部門長が行う週次の在庫確認作業を見学しました。訪問中に繰り返し取り上げられた問題

は、病棟や他の作業環境に十分なスペースがないため、医療品や外科用品を保管することが難しいということでした。

特に懸念されたのは小児科でした。調査によると、必要な薬や機器を保管するための十分なスペースがないとのことでした。その問題について、マコワネさんと塩田さんが話し合いました。

病院内の収納スペース不足の問題は、いくつかの建物の改修・増築によって解決されつつあります。これにより、大量の医療品を収容できるスペースが確保されます。

塩田専門家は、病棟が使っているスペースや環境を最大限に活用するための対処方法も共有しました。さらに、使用中の薬の中で期限切れのものは取り除くことを促しました。そして、期限が迫っている薬が在庫過多な場合、他の部門や施設で必要な人がいるかどうかを見て、薬や備品が無駄にならないように共有することを提案しました。

マコワネ部門長は、塩田専門家に対して、提案が各部門間で医薬品が円滑に流れるように考慮されるよう、自らがその点を確認することを約束しました。



Photo 1, Photo 2: 塩田専門家とマコワネ部門長の点検の様子

Photo 3, Photo 4: 塩田専門家とマコワネ部門長が、小児科部門で看護スタッフと一緒に医薬品の在庫点検を行う様子



## チパタ1次レベル病院で感染予防管理委員会会議が開催

**チ**レンジェ1次レベル病院の感染予防管理委員会は11月に大忙しでした。4半期最初の感染予防管理(IPC)委員会が開かれ、2023年11月24日の会議では、感染予防と管理の分野で病院のさまざまな部門に影響する重要な問題が取り上げられました。

ウシバント環境衛生官がファシリテーターとして参加したIPC会議では、委員会メンバーが集まり、病院の感染予防管理プロトコルや各部門での役割について話し合う機会が与えられました。彼らは感染予防委員会の代表として、各部門で取り組むべきことについて議論しました。

会議では、病院が感染予防管理の面で進展や課題に焦点を当てましたが、その中で多くの良い点も話し合われました。複数の部門が、自分たちの領域内でIPCの状況を改善したことが評価されました。

ウシバント環境衛生官

は参加者に、患者の間で医療従事者を消毒する際の適切な手順を実演しました。実演の後、使用された技術を評価し、正しい手順についてフィードバックが提供されました。

法月チーフアドバイザーは、病院のIPCレベルの改善を評価し、ウシバント環境衛生官は、参加者に以前の会議で話し合われ、合意されたIPCプロトコルに従うように促しました。

同会議で、IPC委員会のリーダーは、病院全体での廃棄物管理エリアの設定と、すべての部門にIPCポスターを掲示することを計画していると述べました。この取り組みは、プロジェクトのニャンガ専門家の協力を得て、成功裏に進められました。

ニャンガ専門家とウシバント環境衛生官は、全ての部署での廃棄物の分別や異なる区分けルール的重要性についてオリエンテーションを行いました。また、ゴミ箱を持つ

ていなかった部署に新しい廃棄物用の容器を調達し、ごみ袋の調達もゾーニングの色に合わせるようにしました。



Photo 1: IPCポスターを掲示し、廃棄物管理エリアのゾーニング作業を行う様子

Photo 2: 産科病棟の廃棄物箱に適切なラベルが貼られ、廃棄物エリアが明確に区分けされている様子



Photo 3: ニャンガ専門家と産後ケア担当のゴマ看護師が、バケツにラベルを貼様子。

Photo 4: ウシバント環境衛生官が、2023年11月24日に開催されたIPC会議でプレゼンテーションを行っている様子





フォト・フォーカス



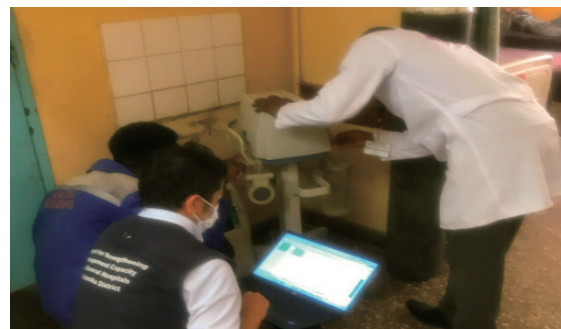
サザンサンホテルで開催されたルサカ郡統合会議で、スピーチを行うズルー郡委員長



ルサカ郡統合会議参加者のコミュニケーションの様子



マテロ1次レベル病院でネリームンバ薬剤師がプレゼンテーションを行う様子



チパタ1次レベル病院で行われた、塩田専門家と病院スタッフによる医療機器のラベリング作業の様子



ニャンガ専門家と病院スタッフがチレンジェ1次レベル病院の母子保健部門でIPCゾーニング作業を行っている様子



チレンジェ1次レベル病院のIPC会議のウシバント衛生官、ニャンガ専門家、サンドラ・シラムヨバ医師



カニヤマ1次レベル病院でコレラ治療センターの準備を行う法月チーフとニャンガ専門家

編集・デザイン: コンベ カパタモヨ  
編集: 緒方 敬  
編集長: 法月 正太郎

連絡先  
法月正太郎 ルサカ郡病院運営管理能力強化  
プロジェクト チーフアドバイザー

住所: Plot No.11743A, Brenwood Lane,  
Longacres. P.o. Box 30027, Lusaka,  
10101, ZAMBIA  
Cell: +260 765 192 865 (official)